

～絵の具であそぼう～ フィンガーペインティング

フィンガーペインティングの醍醐味は、絵の具を、筆を使って描くのではなく、絵の具の感触を手で触って感じ、身体でも感じて、おもいきり描けることです。なかなか家庭では経験できない、絵の具ならではの楽しい活動です。はじめて絵の具に出会う子どもにも、そして1歳児の子どもからでも楽しめます。

●フィンガーペインティング

□用意するもの□

- ・絵の具、のり、水（絵の具1：のり3：水18の割合の濃さがすべりがいい）
- ・コート紙（ポスター用紙のようにつるつるした素材の紙）
- ・写し取り用の紙（画用紙・障子紙）※布も効果がおもしろい
- ・新聞紙（養生として机に敷くもの）
- ・セロハンテープ（新聞紙の固定用）
- ・エプロンまたは古いTシャツなど（汚れ防止用）

□遊び方□

- ①数人のグループに分かれ、各テーブルに新聞紙を敷き、コート紙を置きます。
 - ②絵の具（一色のみ）+のり+水を混ぜ合わせた液を、コート紙にたらしめます。
 - ③指を使ったり、手のひらを使って感触を味わい、手の軌跡の模様ができることを楽しみます。
 - ④十分楽しんだら、次にもう一色絵の具をたらしめます。
 - ⑤色が混ざり合う様子を楽しみ、色を混ぜ合わせると違う色ができることを体験します。
 - ⑥それぞれの色の模様ができたら、写し取る紙を絵の具の模様の上にそっと置き、軽くなでて写しとります。
- ※写し取る紙などの質によって給水力が異なるので、写し方はがし方に注意しましょう。

〈進め方のポイント〉

- ・活動のイメージができるように、絵本を読んで導入します。（例：「あおくときいろちゃん」レオ・レオーニ 作・絵）
- ・ペインティング用の紙は、白地の方が絵の具が混ざり合うのを楽しめます。
- ・触るのが苦手な子どもには、オリジナルタンポ（軍手の先を切り、中に綿をつめ割りばしをさして作ったものなど）で描くと、指で描くのと同様に模様のはっきり描けます。
- ・手を洗う前に、手についた絵の具で手形を取って楽しめます。



〈年齢によって視点・アドバイス〉

「1・2歳児」

いろいろなものを手で触れて、かたい・やわらかい、気持ちいい・気持ち悪いなどを感じる年齢です。フィンガーペインティングは、触れる感覚を豊かにする楽しい遊びです。

1歳児であれば親子で一緒に経験し、絵の具の感触を味わいます。この年齢は言葉も覚えていく時期でもあるので、親が「グルグル、ギザギザ」など手の動きや形を言葉にして描くことが大切です。

「3.4.5歳児」

自分の思ったイメージを描けるようになると「楽しい・うれしい」など、気持ちをイメージして描けるようになります。「おこってる、ねむいねむい」など、いろいろなイメージを持って描くことを楽しめます。また、フィンガーペインティング用にできあがった絵の具ではなく、のりの感触、のりに水を加えた感触、そこに絵の具を加え混ぜ合わせた感触、それぞれの過程を楽しむことができます。

〈活用法〉

絵の具で楽しんだ後は、今度は「形」にしていきます。

写し取った紙を使って

- ・「このぼり」を作る（画用紙・布など）。
- ・野菜スタンプで「模様」をつける（画用紙・障子紙など）。
- ・新聞紙を包んで「くだものや野菜」を作る（障子紙などやわらかい紙）など。

活動の中でいろいろに活用できます。